

『東亜』2025年8月号目次

■特集 秩序の融解とミドルパワーの選択

- * ミドルパワー外交の可能性と限界—豪州の視点から 佐竹知彦
- * インドネシアのミドルパワー外交
—ジョコウィの開発主義からプラボウォの地位追求へ 本名純
- * 韓国のミドルパワー外交
—承認欲求から新たなアイデンティティの模索へ 澤田克己

■ASIA STREAM (2026年6月-2026年7月)

- * 中国の動向 日本・台湾・米国に対して中国が強硬策に打って出る 濱本良一
- * 台湾の動向 台湾が中国の「民族団結進歩促進法」に強く反発 門間理良
- * 朝鮮半島の動向 北朝鮮、習近平主席の7年ぶりの訪朝を歓迎 室岡鉄夫

■COMPASS

- * チャイナスクールが映す日本外交 佐藤賢
- * 新疆の人権問題は終わったのか 熊倉潤
- * 冷戦後秩序形成の起点としての湾岸戦争 相良祥之

■Briefing Room

- * イラン戦争下の東南アジア(2) レジリエンス・信頼・ネットワーク 鈴木絢女

■Book Review on Asia 今月の一冊

- * 『建築は不純につくられる—中国・習近平時代の建築とモニュメント』(市川紘司著)
嵯峨隆

■ASIA SCOPE

- * 「ジェンダー平等」をどう見るか 大橋史恵

■企画連載

- * 米朝関係の新たな展開と米中 (第5回)
習近平政権下の米中関係 —すべての道は対米勝利のために 諏訪一幸

■巻頭言

- * ミドルパワー外交をめぐる曲解と実像 添谷芳秀

■New Publications on Asia

■表紙写真: AFP/アフロ

2026年1月の世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)でカーニー首相は、大国間の競争が激化する世界において「ミドルパワーは結束して行動しなければならない」と訴えた。

※今月号の滄海中国は休載とさせていただきます。